令和７年度（第１８期）　事業報告書

〈 令和７年４月１日～令和８年３月31日 〉

特定非営利活動法人としまNPO推進協議会

---

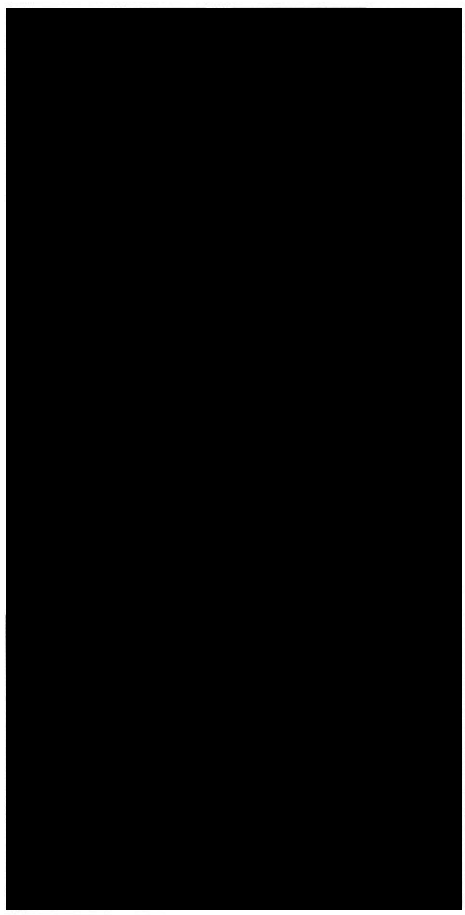
1). 社会貢献活動団体中間支援事業

① 第20回社会貢献活動見本市（共催：豊島区、豊島区地域活動交流センター運営協議会）は、令和８年２月21日（土）に10時～豊島区本庁舎１階としまセンタースクエアで開催することができ、大変意義のある催しとなった。

② 開催当日は、48団体出展、42企業及び団体の協賛、総来場者人数は10時～17時までの時間帯で約700名が来場し、過去最大規模での開催となったことは大きな成果となった。

③ 今回は、『つながると、まちがもっとおもしろくなる！』をテーマに、豊島区がよりよい地域社会の実現を目指し、展示を通じて、普段では得られない体験ができたという声や、新しいつながりを持つことができたなどの声が寄せられた。

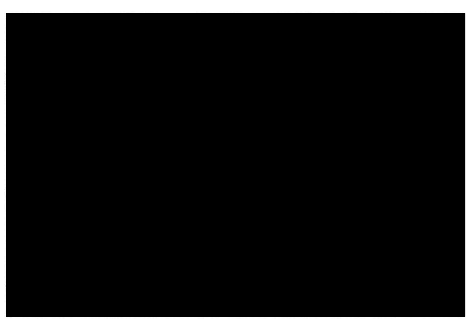
④ [redacted]をお招きし、西部信用金庫の取り組みとソーシャルビジネスへの支援について、特別記念講演をしていただいた。
団体対抗クイズ大会では、メインMCとして[redacted]をお招きし、参加団体がクイズでポイントを競い、会場は笑いに包まれ、盛り上がりを見せた。
また特別講演後は東京音大のミニコンサートも行われ、会場はより一層和やかな雰囲気となり大変盛況な催しとなった。



豊島区長賞　ドキメキワＲダンスキッズ

⑤ パネル展示には、地域活動に取り組む50団体及びCSR企業が出展し、７名の審査員による採点と、シールラリー方式による来場者の一般投票に基づき、優秀パネル展示36団体を表彰した。

⑥ 優秀パネル展示の表彰の賞金や来場者へのノベルティ等については、42協賛企業・団体・個人からご提供いただきましたこと、あらためてご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



当日の会場の様子

⑦ 交流会・懇親会
懇親会では約120名の参加者がいる中で、最高の盛り上がりに包まれながら表彰式が行われ、盛沢山の賞が手渡され会場の参加者には笑顔が広がった。また最後の締めには今回の出展者でもあったエブリワンズ・トーンのメンバーが最高のステージで、第20回の記念に相応しい盛り上がりで会場を沸騰させて戴き、締めくくることができたことは非常に大きな成果であったと言える。



[redacted]のセミナー講演



[redacted]のご挨拶



パネル展示の様子



パネル展示の様子

② としま情熱基金への支援

としま情熱基金は、平成 26 年に、豊島区内で活動する NPO 法人等を通じて「としまの街をステキにする」ことを目的に創設された民間主導の基金であり、くらし、街づくり、教育支援など、地域社会に還元されるさまざまな活動を支援している。



協力企業・店舗等の売上の一部などを基金として積み立て、豊島区内で地域活動を行う団体から提案を募り、優れた提案に対して活動資金を提供する仕組みとなっている。 当年度において、当会は、第 10 回「としまの街をステキにする提案」の開催にあたり、事務局支援および関係者との共同作業を通じて、事業運営に協力することを目指した。としま情熱基金は、地域課題の解決や豊島区の魅力向上につながる市民活動を発掘・応援する重要な取り組みであり、当会としても、地域団体の活動促進とネットワーク形成に資する事業として位置づけ、運営面での支援に取り組んだ。

また、当会からは[redacted]の２名が、運営委員および審査委員として参画し、募集・審査・当日の運営等に関わる支援を行った。これにより、当会がこれまで培ってきた地域活動支援の経験を活かしながら、応募団体の提案内容を精査し、豊島区の地域社会にとって有益で、継続性・発展性のある活動の選定に協力した。 第 10 回「としまの街をステキにする提案」では、令和７年 12 月１日から募集が開始され、令和８年１月 23 日を締切として提案募集が行われた。令和８年２月 11 日（水）には、東京都豊島区西池袋の養老乃瀧本社ビルにおいて「第 10 回としまの街をステキにする提案会」および表彰式が開催され、当日は全８組が提案を行い、厳正な審査の上、受賞団体が決定された。 審査会終了後には、表彰式および交流会も実施され、応募団体、審査員、協賛企業、関係者等が相互に交流する機会となった。単なる助成金の交付にとどまらず、地域で活動する団体同士が出会い、活動内容を共有し、今後の連携や協働の可能性を広げる場としても意義のある取り組みとなった。

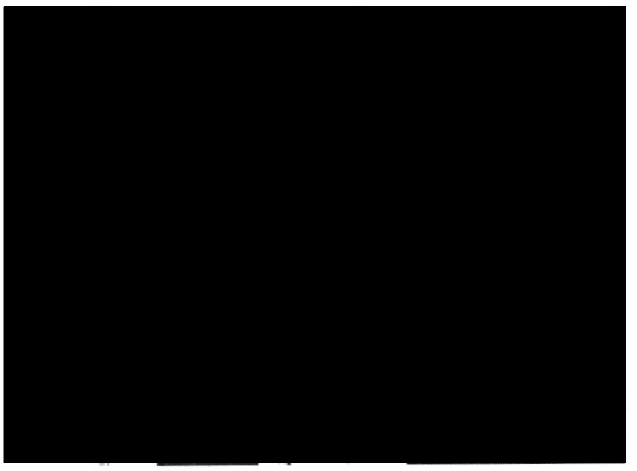
第 10 回「としまの街をステキにする提案」の受賞団体は、以下のとおり決定された。

最 優 秀 賞：としまグリーンインフラ研究会 （タイトル：「種子屋通りの記憶を育てる― 滝野川　　ごぼう波板栽培を通じた学びの場づくり」）
優　秀　賞：としま包摂ネットワーク（タイトル：でばんですよ！）
審査員奨励賞：女性予防医療推進機構（タイトル：豊島区女性予防医療＆ウェルビーイング推進プロジェクト）

今後も、としま情熱基金との連携を大切にしながら、地域活動団体の支援、協働の促進、豊島区のまちづくりに資する活動を継続していく。

令和７年度の協賛企業は下記の通り。

- 西武信用金庫池袋支店
- めぐるでんき
- サンシャインシティ
- としまNPO推進協議会
- 養老乃滝
- さかな竹二久郎
- マテックス



最優秀賞(としまＧライフ)

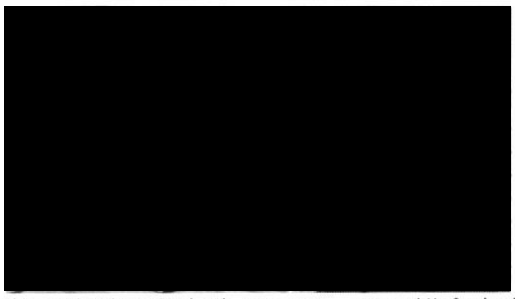


優秀賞(としま包摂ネットワーク)



審査員賞(女性予防医療推進機構)

③　豊島区地域活動交流センター総合案内・相談事業（豊島区からの受託事業）





- 豊島区地域活動交流センターでの総合案内業務および、NPO 法人設立、事業継続、活動の活性化、ネットワーキング等に関する相談業務を、豊島区から継続して受託し業務を遂行した。
- また当法人の[redacted]が地域活動交流センター運営協議会会長を務め、当施設への登録団体相互のネットワーク化や「ちかこイベント」の展開等も継続的に進めている。
- 今年度は施設の受付担当スタッフのスキルアップと事務局担当者の育成を進め、事務作業の効率化を図ると共に、出退勤のクラウド管理、既存事務管理帳票の統廃合や簡素化に努め成果をあげた。

	令和７年度 施設利用者数	令和６年度 施設利用者数	対前年比	相談件数
４月	333 人	241 人	138%	６件
５月	322 人	278 人	116%	１件
６月	249 人	265 人	94%	４件
７月	289 人	311 人	93%	５件
８月	288 人	219 人	132%	５件
９月	349 人	273 人	128%	４件
10 月	341 人	333 人	102%	５件
11 月	257 人	264 人	97%	１件
12 月	228 人	322 人	71%	４件
１月	238 人	274 人	87%	３件
２月	325 人	259 人	125%	３件
３月	303 人	283 人	107%	３件
合計	3522 人	3353 人	106%	44 件

- 相談員による「専門相談業務」は、前年度比 126%と年毎に利用者ニーズが高まっており、令和８年度は相談員(IT 専門担当者を増員)の更なる充実を目指している。
- 「総合案内業務」については豊島区と協議しながら、利用者の利便性を高め正確なオペレーションを目指して運用の変更を進めている。
- 会議室、相談室等の利用者は前年比 106%と増加しており登録団体の活動を支えている。
- 窓口業務や相談業務を実践する中で、地域活動交流センターへの新規登録団体への勧誘とサポート、社会貢献活動見本市、NPO 会計セミナー、NPO 法人設立準備セミナー、地域活動事例研究会等の企画・運営を担うことでより一層登録団体の育成・強化を継続して行った。

④ 「豊島区居住支援協議会」事務局事業 〔国交省＆豊島区からの受託事業〕

とＮ協は、豊島区住宅課からの受託事業として、豊島区居住支援協議会の事務局機能を担い、令和７年度も引き続き協議会の運営支援を行いました。本事業は 10 年以上継続して取り組んでいる事業であり、とＮ協は事務局設置団体および運営委員として、豊島区における居住支援体制の充実に向けた調整・連携の役割を担っています。 令和７年度は、協議会のホームページ更新、各種チラシの作成、関係資料の整備などの情報発信・事務局業務を行うとともに、居住支援法人を中心とした支援団体、福祉関係機関、民間の協力事業者等の登録・連携促進に重点的に取り組みました。住まいの確保に困難を抱える方への支援には、多様な主体の協力が不可欠であることから、協議会に関わる団体・事業者の新規開拓や関係構築を進め、支援ネットワークの拡充に努めました。 また、空き家バンクに関する取り組みにも力を入れ、空き家・空き室を地域資源として活用し、居住支援につなげていくための情報整理や関係機関との調整を行いました。なお、全国各地からの問い合わせについては、可能な範囲で情報提供や関係機関への案内を行いましたが、全国規模での電話相談体制を本格的に整備・実施する段階には至りませんでした。今後は、豊島区内の居住支援体制をさらに強化しつつ、問い合わせ対応のあり方についても検討を進めて参ります。

2）創業支援事業、活動継続サポート事業

① 東京都女性・若者・シニア創業サポート事業（CBS からの受託事業）

- 平成 26 年より実施している東京都の「女性・若者・シニア創業サポート事業」を、令和７年度も継続実施した。
- 「ハンズオン支援」のみを継続している。昨年度と比較して、「ハンズオン支援」の各項目実績で、一部項目において実績が前年度を下回った。
- 令和７年度は、オンラインによる創業支援セミナーを１回開催した。CBS 創業支援販路開拓セミナーを[redacted]が担当した。

	ハンズオン支援
第１四半期	９件
第２四半期	12 件
第３四半期	12 件
第４四半期	８件
合　計	41 件

② としまソーシャルビジネス支援ネットワーク（豊島区共催事業）

「としまソーシャルビジネスネットワーク」（以下、TSBN）は、豊島区において地域の社会課題に取り組む多様な担い手たちが、互いにつながり、学び合い、協働することを目的に設立されたネットワークです。その主な対象は、ソーシャルビジネスを

[redacted]

実践しているNPO、地域活動団体、個人起業家、行政職員、さらにはソーシャルセクターに関心を持つ学生など、多岐にわたります。
このネットワークは、単なる情報交換の場にとどまらず、地域における社会的課題の解決を図るための具体的な連携やコラボレーションを促進することを重視しています。そのため、定期的にセミナーを開催し、参加者が実践的な知識やスキルを学べる機会を提供しています。あわせて、起業や事業の継続に関する個別相談、他団体とのマッチング支援、行政施策との連携づくりなど、多様な支援も行っています。

令和７年度のセミナーでは、企業のブランディングや組織開発を通して“理念を利益に繋げる”経営を実践されている[redacted]より、中小企業でも実践できる「共通価値創造」の考え方や具体的な事例を交えてご講演いただきました。

・ 運営主体としては、地域のNPOや中間支援組織が中心となり、豊島区役所や大学、地元企業などと連携しながら、ネットワークの継続的な成長と活性化を図っています。情報発信にも力を入れており、SNSやメールニュース等を通じて、活動報告やセミナー案内、先進的な取り組みの事例紹介などを積極的に行っています。TSBNは、「地域課題に向き合う人と人をつなげるプラットフォーム」として、地域社会の持続可能性を支える基盤の一つとなっています。
とりわけ、日本政策金融公庫　池袋支店様には運営面で多大な協力をいただいており、本事業継続の大きな推進力となっている。

③　としまイノベーションプランコンテスト2025（東京商工会議所豊島支部から受託事業）

・ 東京商工会議所豊島支部からの受託事業として、当法人の[redacted]が副審査委員長を務めると同時に商工会議所の事務局と連携し、コンテストの募集支援を積極的に行うとともに、授賞式の会場確保やコンテスト受賞式での各種設営や写真撮影等の支援等を行った。

・ 審査結果は以下の通り

◆ニュービジネスプラン部門　　グランプリ（1件）

・[redacted]

⇒　「Thanks Pass－育休をみんなで支えるチカラに。」

◆ドリームビジネスプラン部門グランプリ（1件）

・[redacted]

⇒　「社会資源を活用した単身高齢者の見守り・移動・健康維持支援アプリの開発」

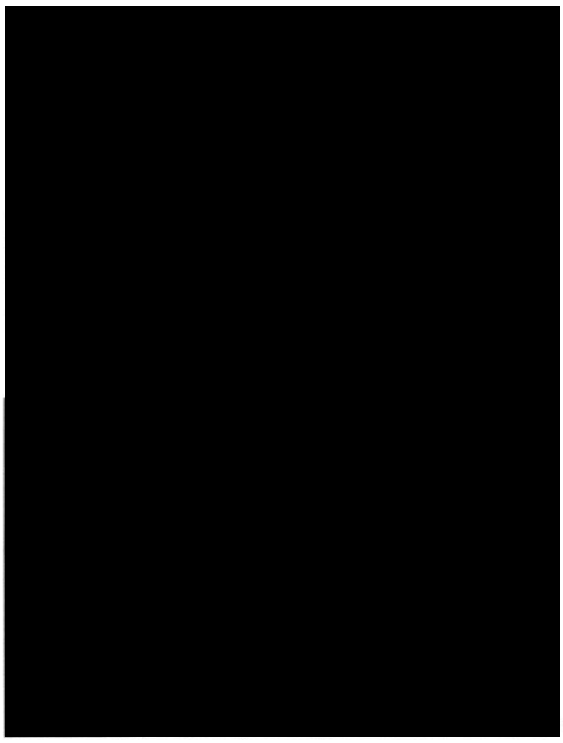
◆審査委員会奨励賞（2件）

・[redacted]

⇒　「外国人向け自動車運転シュミレーターを作成し」

・[redacted]

⇒　「AIスマートグラスでEnjoy Walk!!」





による講評の様子

3) セミナー・講座企画運営事業

① NPO、地域活動に関するセミナー企画・運営（豊島区からの受託事業）

・ 豊島区主催の「だれでもわかる NPO の資金調達セミナー」、「NPO 法人設立準備セミナー」、「地域活動体験ツアー」、「NPO 法人会計セミナー」、「だれでもわかる NPO 法人労務入門セミナー」に関する以下のセミナーについて企画・運営を受託し実施した。

タイトル	開催日	講師	参加者数
誰でもわかるNPOの資金調達入門セミナー	令和７年８月28日		25名
地域活動設立準備セミナー	令和7年9月4日・11日	9月4日 9月11日	33名 （zoom15名）
はじめの一歩!”きのこシート”で描く わたしのNPO・地域活動講座	令和７年10月30日		15名
「としま社会貢献見学ウォーク!～歩いて学ぶ、社会貢献の力	令和７年11月24日	NPO法人サンカクシャ	13名

タチ～」		みらい館大明 NPO 法人 SLC NPO 法人テラコヤ	
NPO 会計セミナー	令和７年 12 月６日	[redacted]	11 名
ソーシャルビジネスと CSV	令和８年１月 27 日	[redacted]	22 名
AI セミナー	令和８年３月５日	[redacted]	31 名 Zoom12 名

② 生涯学習事業（みらい館大明から受託事業＆協働事業）

・ みらい館大明にて、下記の生涯学習プログラムの企画・運営を行なった。

講座名	開催日	講師名	参加人数
男の料理教室	毎月第３土曜日	[redacted]	各回約９名

・ 令和７年度の「男の料理教室」は、大明の人気講座となっている。

③ その他セミナー

講座名	開催日	講師名	参加人数
第一学院 managara　BASE	2025.4.27	[redacted]	約 50 名
大正大学井原ゼミ講義	2025.5.14		約 20 名
立教セカンドステージ大学春季講座	2025.6.23		約 60 名
西武信金 SB セミナー	2025.6.24		約 35 名
CBS 創業支援販路開拓セミナー	2025.8.20		約 20 名
立教セカンドステージ大学秋季講座	2025.9.8		約 40 名
練馬区資金調達セミナー	2025.10.7		約 15 名
練馬区 NPO 法人設立セミナー第１回	2026.2.27		約 20 名
練馬区 NPO 法人設立セミナー第２回	2026.3.6		約 20 名

※とＮ協として受託または講演依頼を受け開催したセミナーのみを記載

4）社会貢献活動団体への事務所の活用による支援事業

① 当法人事務所を活用したシェアオフィス利用団体

- 一般社団法人起業家支援協会
- NPO 法人ブランディングポート
- 一般社団法人 Irodori
- 一般社団法人ベストアシスト
- 一般社団法人地域創業サポートオフィス
- NPO 法人ぽっぷらん
- NPO 法人日本タンゴ文化振興協会

② 協働事務所を活用した事務局支援事業

■令和７年度の事務局業務を担った団体

- NPO 法人竹岡からこんにちは事務局
- 豊島区居住支援協議会（豊島区からの受託事業）
- NPO 法人としまユネスコ協会事務局
- NPO 法人キャリア・インプルーブ事務局
- NPO 法人未来事務局

■令和７年度の事務局業務を支援した団体

- NPO 法人女性予防医療推進機構
- NPO 法人大塚応援カンパニー(会計関係及び組織運営支援)
- NPO 法人せたがや相談支援ネットワーク

5) 地域サロン「みんなのえんがわ池袋」の運営



① えんがわカフェ

・ 今年度で自主運営をスタートしてから 18 年以上を経過する池袋 3 丁目を中心とした地域内サードプレイス事業として展開し、町会やその他各種社会貢献団体とのコラボで活用の機会が増加した。

・ 独居老人の多い豊島区の中でも池袋三丁目地域は独居の方々が多く居住しており、多くの相談対応について豊島区民社会福祉協議会 CSW や豊島区居住支援協議会の事務局として連携を取りながら支援に努めた。

・ 有償ボランティアで協力してくれる地域内の従事スタッフが少人数ながら傾聴ボランティアの姿勢で充分な役割を果たし、毎日 11 時～17 時過ぎまで運営することにより消滅した仲通り商店街の「近隣地域住民の憩いの場」としての役割を高めた。

・ スタッフの方々を積極的に探すと同時に学生スタッフにも声をかけながらえんがわの促進活動をしている。現在では、少人数体制による継続的な運営努力により、全席が埋まるほど常連利用者が増加した。

・ 会計事務所に依頼し、えんがわの収支決算を簡潔にするよう務めた

・ えんがわ市では各種募金活動に充分チャレンジしたことで募金を集めることが出来、さらに出展者は新たな方々を増やし、学習院大学の学生にもインターンとして参加していただいた

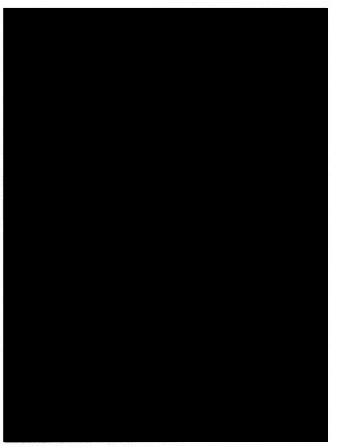
・ 社会福祉協議会のえんがわの床の修理等で補助金申請し、内装の変化をすることで足元の安全性を高めることができた。また、公金の管理と同時に事務所を含めたセキュリティ対策改善に努めた。

・ 社協の CSW と充分に連携することで各種地域の高齢者の個別の問題にも対処し、豊島区居住支援協議会と CSW の打合せをサードプレイスであるえんがわを活用し２か月に一度の相談会

を継続した。

・　仲町会へ協力し「御嶽神社例祭への協力」「火の用心町会活動への協力」「町会婦人会打合せ会場提供」「町会広報チラシの張り出し」等の協力を行った。

②　地域活動団体への施設の貸し出し



これまで自主事業として継続してきた「Kid's English」は、近隣の子どもたちや保護者を中心に好評を得てきたが、諸般の事情により年度途中で一旦終了した。
一方で、本年度は「えんがわ」の貸し出し利用が広がり、豊島区CSWによる「くらしのなんでも相談」をはじめ、「生きづらカフェ」「占いナイト」「スピリチュアル教室」など、地域の多様なニーズに応える場として活用された。
特に、高校生や大学生を中心とした若者による活用が目立ち、学生主催の「放課後教室」や、若者向けの「ボードゲーム会」、地域向けの「学生居酒屋」など、若い世代が主体的に地域と関わる活動の場となった。
このように本年度の「えんがわ」は、地域団体による利用に加え、高校生・大学生を中心とした若者の主体的な活動が広がり、地域に開かれた交流・居場所・学びの拠点としての役割を一層強める一年となった。

③　フリーマーケット「えんがわ市＆リサイクルフリーマーケット」

・　今年度も毎月第２日曜日に定期的に開催し通算 190 回を超える大変長期にわたる、ロングラン事業となり、地域内外の方々からも高い評価を戴くと同時に、サードプレイスとしての地域サロンの運営への資金構成の基本ともなり、とＮ協の中心イベントとしての位置づけとしても意義ある開催を継続して行った。

・　学生や町会役員、えんがわスタッフ(有償ボランティア従事者)、とＮ協役員の献身的なボランティア活動で支えられたイベントであり長年継続して開催することによる地域の方々から大変な高評価を得ており、今後も継続的に開催していくことを目指すものである。また、地域の高齢者を中心に今後も積極的に続けて欲しい「このえんがわ市の活動をなくさないで欲しい！」との切実な要望を多数戴いていることは地域のサードプレイスとして重要なことであると考える。





6) 広報活動

① SNS の活用による情報発信

・ 令和 7 年度は、各種イベントやセミナーの集客を目的に Facebook や Instagram を中心にした各種の情報発信を常時継続して行った。

② ホームページの運営

・ 当団体の基本的な情報発信ツールとして「としま NPO 推進協議会」、「みんなのえんがわ池袋」、「地域活動交流センター」、「としま情熱基金」ホームページ合計４サイトを運用した。

・ 地域活動交流センターやとしま NPO 推進協議会の HP は投稿も積極的に行い情報の更新を行った。

・ としま NPO 推進協議会、みんなのえんがわ池袋、としま情熱基金のホームページでは、それぞれ Facebook、PIAZZA 等を活用し、対象者や目的に応じた情報発信を実施した。

・ 「第 20 回記念社会貢献見本市」等の各種イベントを独自の YouTube チャンネルである「えんちゃんねる」にて動画配信し広報発信力を高めることに努めた。



7) 映像制作・配信事業

コロナ禍の収束に伴い、映像制作・配信事業そのものの実施機会は前年度に比べ大きく減少した。特に、セミナーやイベントの開催形態が対面またはハイブリッド形式へ戻りつつある中で、配信単独での事業展開は少なくなった。 一方で、これまで「みんなのえんがわ池袋」のスタジオ化等を通じて培ってきた映像制作・配信のノウハウは、豊島区役所からの受託事業をはじめ、他団体のセミナー事業や当法人主催の東京都女性・若者・シニア創業支援事業等において、動画配信や収録対応の手配・運営面で十分に活用された。 今後も、対面開催を基本としつつ、必要に応じて配信や動画活用を組み合わせることで、事業の利便性向上と情報発信力の強化につなげていく。

書式第 12 号(法第 28 条関係)

令和７年度 事業報告書

特定非営利活動法人としまNPO推進協議会

1 事業の成果

令和 7 年度においても、記念すべき「第 20 回社会貢献活動見本市」の開催や「豊島区地域活動交流センターの運営受託」をはじめ、「創業支援・各種セミナーの企画運営」、「情報発信広報活動」など多様な事業を精力的に展開した。また、対面開催を基本としつつオンラインやハイブリッド形式を柔軟に組み合わせることで、多様な事業形態に対応した。 さらに、ソーシャルビジネス支援や各種専門セミナーを通じて、創業希望者やNPO設立・運営者への伴走支援を継続的に実施した。

これらの取り組みにより、豊島区地域内外における多世代の交流促進と社会貢献活動の継続的な基盤強化に大きく貢献した。

課題となったのは、学生スインターンやボランティア等の各種イベントでの支援者の協力が増えたものの、常駐の事務局職員がなかなか配置できず事務面での個人集中が多々あり負荷が大きかった。

2 事業実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業費の総費用【　１１,４８０　】千円

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費（千円）
社会貢献活動団体の中間支援事業	社会貢献活動見本市 第 20 回社会貢献活動見本市を豊島区本庁舎 1 階としまセンタースクエアで実施し盛況であった。	令和8年2月21日	豊島区本庁舎1階 としまセンタースクエア	30	豊島区内で活動する地域貢献活動団体および一般市民約700名	460
	豊島区地域活動交流センター 豊島区地域活動交流センターの総合案内業務及び相談業務を実施。（利用者 3,353 人、相談件数 35 件）	通年	豊島区地域活動交流センター	12	一般市民不特定多数（利用者 3,353 人、相談件数 35 件その他）	3,910

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費（千円）
創業支援事業、活動継続サポート事業	東京都「女性・若者・シニア創業サポート事業」 東京都アドバイザーとして、オンラインセミナー実施およびハンズオン支援（計 41 件）を行った。	通年（セミナー：8月20日等）	みんなのえんがわ池袋、オンライン＆起業者の事業所訪問	8	都内で創業を目指す女性・若者・シニア等一般市民不特定多数	2,250
	としまソーシャルビジネス支援ネットワーク 設立・拡充を目指す団体を対象に、ソーシャルビジネスセミナー等を開催した。	11 月～2月末：令和8年1月27日開催	イケビズ第3会議室等	3	創業を目指す方 約22名	0
	としまイノベーションプランコンテスト2025 代表理事が副審査員長として参加	通年	商工会議所豊島＆HIRAKU01	3	創業を目指す学生や一般社会人(発表会当日参加者約60名)	90
セミナー・講座企画運営事業 セミナー・講座企画運営事業	NPO 法人設立準備セミナー 法人設立時の注意点や申請書類作成を中心に講義を行った。	令和7年9月4日・11日	IKEBiZ 第3会議室(事務所内外)	8	NPO 法人設立を目指す人 33 名受講	90
	NPO 法人会計セミナー 経理処理、制度の改定ポイントを実施。専門家（税理士等）を招聘。	令和7年12月6日	IKEBiZ 第3会議室(事務所内外)	10	NPO 法人経営者、設立を目指す方 11 名受講	90
	地域活動体験セミナー等 「としま社会貢献見学ウォー	令和7年11　月	豊島区内外各所	11	社会貢献を目指す一般市民	180

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費（千円）
	ク!」等、現場体験型の講義実施。	24 日等			13 名受講	
	その他セミナー（資金調達・AI等） 資金調達入門（8/28）、はじめの一歩（10/30）、AI セミナー（3/5）等。	通年	IKEBiZ、各大学、練馬区他	3	一般市民不特定多数(受講者数約 60 名)	710
協働事務所の活用と事務局支援事業	法人事務所を協働事務所として活用しシェアオフィス支援（7団体）および事務局支援業務（8団体）を実施。	通年	事務所	2	一般社団や地元 NPO 法人など(関係団体関係者人数約 50 名)	50
地域サロン「みんなのえんがわ池袋」の運営	サロン貸し出し、リサイクルフリーマーケット（えんがわ市）開催（通算 190 回）、各種相談対応。	通年	みんなのえんがわ池袋	15	一般市民不特定多数(月利用者数 300 名超)	3,200
広報活動（情報発信）事業	HP 管理・更新、SNS・YouTube 運営。見本市における動画撮影と各種配信を実施。	通年	事務所内外＆インターネット上	10	一般市民不特定多数	400
映像制作・配信事業	えんがわ池袋をスタジオ活用し、豊島区からの委託事業や他団体のセミナーイベント等の映像制作・配信・収録対応を実施。	通年	みんなのえんがわ池袋、他区内各施設	5	区内地域活動団体及び一般市民不特定多数	50

活　動　計　算　書

【税込】（単位：円）

特定非営利活動法人としまNPO推進協議会　　自 令和7年 4月 1日　至 令和8年 3月31日

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	111,000		
賛助会員受取会費	125,350	236,350	
【受取寄付金】			
受取寄付金		214,642	
【受取助成金等】			
受取助成金	0		
受取補助金	150,000	150,000	
【事業収益】			
自主事業収益	2,307,979		
受託事業収益	8,831,641	11,139,620	
【その他収益】			
受取　利息	8,387		
受取配当金	1,800		
雑　収　益	296,991	307,178	
経常収益　計			12,047,790
【経常費用】			
【事業費】			
（人件費）			
人件費計	0		
（その他経費）			
売上　原価	983,839		
業務委託費	0		
広告宣伝費	0		
接待交際費	0		
諸　謝　金	9,961,790		
印刷製本費(事業)	0		
会　議　費(事業)	210,472		
旅費交通費(事業)	232,794		
通信交通費(事業)	30,000		
消耗品　費(事業)	0		
修　繕　費(事業)	0		
保　険　料(事業)	11,000		
諸　会　費(事業)	20,000		
研　修　費	0		
支払手数料(事業)	0		
支払寄付金	0		
雑　　費(事業)	30,776		
その他経費計	11,480,671		
事業費　計		11,480,671	
【管理費】			
（人件費）			
給料　手当	0		
人件費計	0		
（その他経費）			
福利厚生費	0		
印刷製本費	0		
会　議　費	57,671		
旅費交通費	48,590		
通信運搬費	649,544		
消耗品　費	45,127		
水道光熱費	53,378		
地代　家賃	1,272,000		
修　繕　費	262,900		
広告宣伝費	20,000		

活　動　計　算　書

[税込]（単位：円）

特定非営利活動法人としまNPO推進協議会　　自 令和7年 4月 1日　至 令和8年 3月31日

接待交際費	70,320		
租税　公課	5,600		
支払手数料	462,000		
諸　会　費	159,000		
リース　料	89,760		
総会理事会	288,000		
雑　　費	49,219		
その他経費計	3,533,109		
管理費　計		3,533,109	
経常費用　計			15,013,780
当期経常増減額			△ 2,965,990
【経常外収益】			
経常外収益　計			0
【経常外費用】			
経常外費用　計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 2,965,990
法人税等			71,639
当期正味財産増減額			△ 3,037,629
前期繰越正味財産額			7,885,203
次期繰越正味財産額			4,847,574

貸　借　対　照　表

特定非営利活動法人としまNPO推進協議会
全事業所

[税込]（単位：円）
令和8年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】			
（現金・預金）			
現　　金	0		
小口　現金	101,208		
当座　預金	1,625,970		
普通　預金	2,192,935		
定期　預金	1,120,884		
出資証券	60,000		
現金・預金 計	5,100,997		
（売上債権）			
未　収　金	2,276,339		
仮　払　金	0		
売上債権 計	2,276,339		
流動資産合計		7,377,336	
【固定資産】			
（投資その他の資産）			
敷　　金	225,000		
投資その他の資産　計	225,000		
固定資産合計		225,000	
資産合計			7,602,336

《負債の部》

【流動負債】			
未　払　金	1,782,269		
未払　費用	72,493		
前　受　金	0		
短期借入金	900,000		
流動負債合計		2,754,762	
負債合計			2,754,762

《正味財産の部》

前期繰越正味財産		7,885,203	
当期正味財産増減額		△ 3,037,629	
正味財産合計			4,847,574
負債及び正味財産合計			7,602,336

財　産　目　録

特定非営利活動法人としまNPO推進協議会
全事業所

[税込]（単位：円）
令和8年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】			
（現金・預金）			
現　　金	0		
小口　現金	101,208		
えんがわ運営	(101,208)		
当座　預金	1,625,970		
会費・ゆうちょ	(1,625,970)		
普通　預金	2,192,935		
ゆうちょ銀行・本体	(560,097)		
ゆうちょ銀行・えんがわ	(35,560)		
東京三協信用金庫・池袋支店	(818,934)		
西武信用金庫・池袋支店	(104,549)		
三菱東京UFJ銀行・池袋西口支店	(107,600)		
東京信用金庫・要町支店	(566,195)		
定期　預金	1,120,884		
西武信用金庫・池袋支店	(730,260)		
東京信用金庫・本店営業部	(30,063)		
東京信用金庫・要町支店	(130,054)		
東京三協信用金庫・池袋支店	(230,507)		
出資証券	60,000		
西武信用金庫	(60,000)		
現金・預金 計	5,100,997		
（売上債権）			
未　収　金	2,276,339		
豊島区	(2,057,889)		
コミュニティビジネスサポートセンター	(216,400)		
みらい館大明	(0)		
えんがわ	(2,050)		
仮　払　金	0		
売上債権 計	2,276,339		
流動資産合計		7,377,336	
【固定資産】			
（投資その他の資産）			
敷　　金	225,000		
投資その他の資産　計	225,000		
固定資産合計		225,000	
資産合計			7,602,336

《負債の部》

【流動負債】			
未　払　金	1,782,269		
創業支援事業	(0)		
居住支援協議会	(1,562,424)		
地域活動交流センター	(219,845)		
みらい館大明	(0)		
事務局	(0)		
未払　費用	72,493		
前　受　金	0		
短期借入金	900,000		
流動負債合計		2,754,762	
負債合計			2,754,762
正味財産			4,847,574

書式第１８号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

令和7年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人としまNPO推進協議会

１　確認事項（法第２０条及び第２１条を確認の上、チェックを入れてください。）

☑以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第２０条関係）

☑各役員について、親族の規定に違反していません。（法第２１条関係）

２　役員一覧

	役　名 どちらかに ○	（フリガナ） 氏　名	[redacted]	前事業年度内の就任期間	報酬を受けた期間（該当者のみに記入）
1	理事・監事	ヤナギダ　ヨシフミ 柳田　好史		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
2	理事・監事	フジイ　ワタル 藤井　亘		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
3	理事・監事	イノセ　ノリオ 猪瀬　典夫		令和7年4月1日 ～ 令和8年1月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
4	理事・監事	コマツ　サトシ 小松　聡		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
5	理事・監事	シガキ　タカコ 紫垣　敬子		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
6	理事・監事	ヒダイ　カヨコ 干台　佳代子		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
7	理事・監事	ホンダ　エリコ 本多　絵理子		令和7年4月1日 ～ 令和8年1月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
8	理事・監事	モギ　ヤスコ 茂木　康子		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
9	理事・監事	ヤマダ　コウヘイ 山田　耕平		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日

書式第１８号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

10	理事・監事	ニシオカ　ヤスシ 西岡　恭史	[redacted]	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
11	理事・監事	カワハラ　ミノル 川原　実		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
12	理事・監事	ヨシザキ　マサオ 吉祥　眞佐緒		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
13	理事・監事	イシモリ　ヒロシ 石森　宏		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
14	理事・監事	カドワキ　マサト 門脇　雅人		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日

書式第４号（法第１０条・第２８条関係）

社員名簿（社員のうち１０人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人としまNPO推進協議会

	氏　　名	[redacted]
1	柳田　好史	
2	藤井　亘	
3	柳田　好美	
4	小松　聡	
5	紫垣　敬子	
6	千台　佳代子	
7	吉祥　眞佐緒	
8	大和　泰子	
9	石森　宏	
10	門脇　雅人	
11	川原　実	
12	西岡　恭史	